

茗溪



春

2019
平成31年
no.1101

目次

- グラビア …… 01 ～ 02
- 第17回（2018年度）茗溪会賞受賞者紹介 …… 03 ～ 09
- 著書紹介 …… 08
- 2019年度 茗溪会 広報等 年間行事計画 …… 10
- 定時総会開催のご案内 2018・2019年度 茗溪会 代議員一覧 …… 11
- 占春園再生プロジェクト報告「落英池のかいぼり」 …… 12 ～ 13
- 占春園覚書き …… 14 ～ 15
- 第3回茗溪・筑波産業人倶楽部 …… 16 ～ 17
- 茗溪・東西南北 …… 18
- 筑波大学はいま …… 19
- 2018年度『茗溪フェロー』協力者ご芳名 …… 20
- 完納会員の皆さまへ …… 21
- 茗溪学園だより …… 22
- 桐の葉のつどい …… 23
- 追悼録 …… 24
- 広報 …… 26
- 表紙のことば …… 26
- 編集後記 …… 26



日本のバウムクーヘンの歴史は
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

ユーハイム®

www.juchheim.co.jp/juchheim
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-4

お客様係 TEL 0120-860816

受付時間：平日(月～金) 9:30～17:00(年末年始を除く)
携帯電話・PHS からはご利用いただけません。

食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの
サポートも可能です。

寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者の年齢層に応じたメニューを
提供。栄養バランスを考慮した食事を提供するだけでなく、
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を
心がけ、「食」を通じて家庭に在るような安らぎを提供すること
を目指しています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理
業務も行っています。



はぐくむ、大切なことのすべて

SHIDAX

シダックスフードサービス株式会社

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-17-10 シダックス新宿セントラルロード
TEL.03-6632-5052 (代表)

KAIT

力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。

■工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
電気電子情報工学科
応用化学科
臨床工学科(臨床工学技士養成課程)※

■創造工学部

自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

■応用バイオ科学部

応用バイオ科学科
栄養生命科学科(管理栄養士養成課程)※

■情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科

■看護学部

看護学科(看護師養成課程)※

※2020年度に新学部への再編を構想中

常務理事 河野 隆二(S47農)

教職センター 大畑多津雄(S52理 数)(神奈川茗溪会会長)

教職センター 望月 正大(S51理 数)(同 副会長)

早期学生支援室 掛原 豊(S54農林学類)



神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/

占春園再生プロジェクト

(P.12 ～ 13 参照)



2019 年 1 月 6 日 勉強会（公開講座）



2019 年 1 月 13 日 在来種救出イベント



2019 年 2 月 10 日 泥上げイベント

第 3 回 茗溪・筑波産業人倶楽部

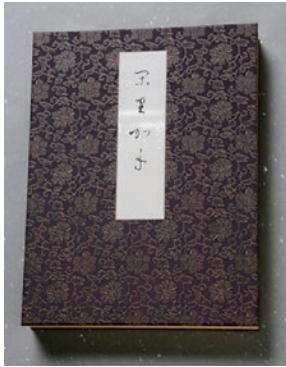
(P.16 ～ 17 参照)



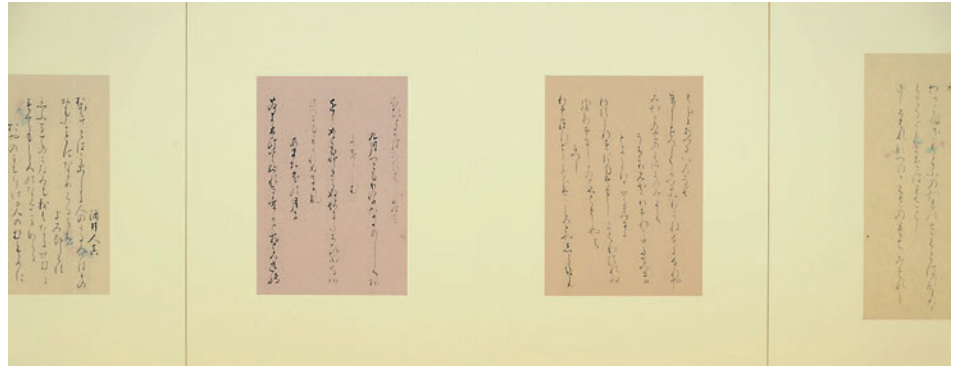
2019 年 2 月 16 日（土）茗溪会館

平成 30 年度 茗溪会賞 芸術部門受賞者

(P.8 参照)



【臨 古筆手鑑】



笠原 葵さん
(書コース)

推薦者 森岡 隆先生



【BEST PICNIC】



小山 莉瑛子さん
(ビジュアルデザイン領域)



推薦者 原 忠信先生



大井 真希さん 推薦者 齋藤 敏先生
(クラフト領域)



【Cantabile-1995】

第17回(平成30年度)

茗溪会賞受賞者紹介(大学院)

受賞者紹介

(順不同 敬称略)

茨城県立茎崎高校での生徒支援活動

(教育研究科 布施 智瑛)



トがより良く機能することに大いに貢献した。

茨城県立茎崎高校での生徒支援活動

(教育研究科 原澤 芳春)



茎崎高校における大学院生ボランティアとして、様々な困難を抱える生徒達の相談にのった。このように、高校が行う生徒達へのサポート体制の一翼を担っている。原澤さんは、2年間、この活動に熱心に取り組み、2年次には副代表として活動の推進に貢献した。当該プロジェクトの成功に大きく貢献した。

科学フェスティバルの参加によるエネルギー教育推進活動等

(教育研究科 吉岡 美紀)



感する活動などを支援した。

吉岡さんは、圧電素子を用いて、LEDの点灯によりエネルギーを楽しく実感できるシーソーを開発し、科学フェスティバルで参加した子どもたちにわかりやすく伝えた。また、東京での「ちよこつと理科クラブリターンズ」では、屈折率を利用した万華鏡づくりや自然界の種子の形を紙で作り、その動きを実

国際バカロレア(IB)教育の普及・促進活動

(教育研究科 小川 玲)



小川さんは、国際バカロレア(IB)教育の普及・促進に取り組んできた。筑波大学に置かれている日本国際バカロレア教育学会の事務局の業務を中心に担い、円滑な大会開催と学会誌の刊行等に尽力した公開シンポジウムの実施において、その準備・運営における中心的な役割を担ってきた。

奈良県靴下産業の再興にむけた戦略構築による地域振興支援活動

(ビジネス科学研究科 西村 亜紗)

奈良県は、日本一の靴下生産量を誇っていたが、近年生産量は漸減している。西村さんは、県靴下工業協同組合や県内靴下製造企業と議論を重ね、アンケート調査等



も行い、奈良県産靴下の技術的な強み・伝統ブランドを活かした商品コンセプト(機能性×和×デザイン)を開発し、海外に拡販するためのビジネスプランを作成した。現在、その実現に向け、組合や企業と討議し、地域振興の一步を踏み出している。

ティーチングアシスタント(TA)としての支援活動

(数理物質科学研究科 HAWA ALIMA BINTI ABDUL LATIF)



HAWA ALIMA BINTI ABDUL LATIFさんは、平成27年から2年間、茗溪学園において科学研究アドバイザーをつとめた。平成29・30年は、新潟県立新発田高等学校において、「筑波大学の講座」やマレーシアの紹介を行う活動をした。また、茨城県立並木中等教育学校の「SSHサイエンスカフェ」で国際理解教育に尽力した。

児童・高校生への理科教育推進活動

(数理物質科学研究科 林 宏紀)

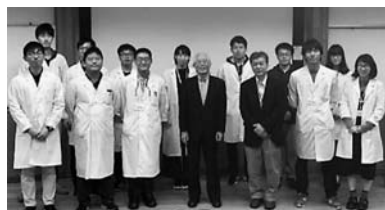


林さんは、つくば科学フェスティバル、小学校訪問理科実験、文部科学省科学技術週間などで、小・中・高校生対象の理科教育実験活動を行ってきた。ハーバード大学で電子ポリマーの応用研究を学んだが、これを子供たちの理科教育に生かそうと、様々な工夫を行って工作物を作り、デモンストラーションを行った。

●地域小中高生対象体験実験 ティーチング・アシスタントによる 科学教育への貢献

(数理物質科学研究科 麻生 史拓)

麻生さんは、共役系高分子の設計並びに化学的・電気化学的手法による合成研究に取り組み、このスキルを活かし、「筑波大学GFEST」未来を創る科学技術人材育成プログラム」等の各種TAA業務に従事した。また、本プログラムにおける児童・生徒の体験実験において、的確なアドバイスや手助けを行った。



●Tsukuba Workshop for Young Mathematicians の学生共同世話人としての社会貢献

(数理物質科学研究科 佐藤 祐弥)

●Tsukuba Workshop for Young Mathematicians の学生共同世話人としての社会貢献

(数理物質科学研究科 日浅 龍太)



佐藤さんと日浅さんは、若手数学者の研究発表とアジアの大学の学生との交流を目的とした研究集会「Tsukuba Workshop for Young Mathematicians」の学生共同世話人として外国人留学生の招へい、公式サイト開設・運営プログラムの作成、研究集会当日の設営を行った。公式サイト上で研究集会の案内を公開し、数学専攻大学院生による研究活動・研究成果を社会に広く発信した。

●高経年郊外住宅地(千葉県柏ビレジ)の まちづくりへの支援活動

(システム情報工学研究科 赤西 祐里奈)



ちなみコンクール」で国土交通大臣賞に選定された。

住民の高齢化が進む千葉県柏ビレジに対し、2017年より筑波大学藤井研究室が支援している。赤西さんは、その支援活動の中心として、全世帯アンケート調査、多様な活動主体へのインタビュー調査、建物景観の全戸調査等を行い、基礎的調査・分析を担った。この結果、柏ビレジのまちづくり提言は、平成30年度「第14回住まいのま

●Society5.0を活かした地方移住推進活動

(システム情報工学研究科 川崎 薫)



川崎さんは、石岡市旧八郷町を主たる対象に、石岡市役所・民間企業・地元住民と連携し、現地調査やワークショップを行った。「ICT・IoTを活かした新しい社会像Society5.0に基づく地方移住の可能性」を研究テーマにし、成果は査読付き論文・講演論文として公表、さらに、政府の国土審議会での発表と情報提供を要請された。このように、実際の国土政策に広く参考とされている。

●地域公共交通適正化研究による 茨城県西地域自治体への貢献

(システム情報工学研究科 長谷川 大輔)



長谷川さんは、地域公共交通の適正な構築に関する定量的分析に取組み、現在までに査読付き和文論文2編の出版、採録決定論文1編、査読付き国際会議論文1編、7件の学会発表を行っている。このような知見にもとづき、茨城県西地域の自治体における地域公共交通に関する会議やシンポジウムで活躍した。

●学内外における障害学生の修学支援活動 および支援体制の充実への貢献

(システム情報工学研究科 遠山 弘晃)



遠山さんは、幼少期の事故により重度の麻痺を抱えることとなったが、人や社会のために貢献したいという強い信念を持ち、本学運動内部障害学生支援チームに運営スタッフとして所属し、学内における障害学生の修学支援、支援者の養成、環境改善に貢献した。また、東京大学先端科学技術センター主催のDOT Japanに大学生リーダーとして参加した。

●科学コミュニケーションの促進・ 学生委員会等における組織運営・ アウトリーチ活動

(システム情報工学研究科 宮本 隆典)

宮本さんは、つくば院生ネットワーク(TGN)の一



員として、雙峰祭における学術企画「学生プレゼンバトル」の企画・運営（2016～2017）を行った。また、大学においては、知能機能システム専攻博士学生会の代表（2018）、研究室学生長（2018）も務めた。さらに、関東大学でつくる有志学生団体の副実行委員長（2018）として、研究発表ワークショップ「IEEE TOWERS」を企画・運営した。

●スポーツ工学分野の国際的な人材交流における貢献

（システム情報工学研究科 木村 雄生）



木村さんは、米軍子弟教育高大連携プロジェクトでスポーツ工学をテーマとした受け入れプログラムを作成した。特に、テニスラケットの振動実験などを研究室で体験してもらう企画では、木村さん自身が英語でコミュニケーションをとった。このプロジェクトを通して、日本の大学を国際的に広報する役割をも果たした。

●日本における海棲哺乳類に関する自然史学的活動（学術と普及への取り組み）

（生命環境科学研究科 主森 亘）



主森さんは、北海道から産出したアザラシの仲間の全身骨格化石を、国際誌に新種として発表した。また、国立科学博物館との連携大学院生として、シロナガスクジラなどのストランディング調査や展示などに参加し、海洋環境汚染への警鐘、標本作製や展示解説に従

事した。8つの展示協力を行うなどのアウトリーチ活動も行った。

●山岳科学学位プログラムの知名度向上への貢献

（生命環境科学研究科 松村 健太郎）



松村さんは、山岳科学学位プログラムの一期生として、当該プログラムのアウトリーチ活動（アースデイ、山の日フォーラム）に参与した。また、山岳科学学位プログラムにかかる新聞（朝日新聞）やテレビ（NHK）の取材「おはよう日本」に対応し、当該プログラムの知名度向上にも貢献した。また、当該プログラムへの団結力・結束力、さらには研究への態度を向上させた。

●生命科学を通じた米軍子弟・茨城県高校生の育成活動への貢献

（生命環境科学研究科 水上 早瀬）



水上さんは、タンパク質の機能的多様性の原理を理解するために、遺伝子発現調節の研究に取り組んでいる。米軍子弟教育高大連携プロジェクトでは、生体内の代謝産物の測定方法を実際に体験してもらった。また、平成30年には「未来の科学者育成プロジェクト事業」（茨城県）の「第7回高校生科学研究会」で審査員をつとめた。

●サイエンスコミュニケーションの推進活動

（生命環境科学研究科 木村 郷子）

木村さんは、本学自然教育活動サークル『ねっしー』で、



小中学生向け企画・キャンプの活動を行った。2018/11の企画は、筑波大学園祭でアカデミー賞を受賞した。また、国際植物の日イベント（筑大）、国立科学博物館水草展、茨城県竹園高校国際科のTA、「サイエンス・キッズ」（茨城県）など、様々な企画で活躍した。また、筑波大学学生プレゼンバトル2017で優秀賞を受賞した。

●筑波大学と東北師範大学とのダブルディグリープログラムへの貢献

（人間総合研究科 宮本 慧）



宮本さんは、筑波大学と東北師範大学（長春市）が締結したダブルディグリープログラムに関する協定の第1期生である。東北師範大学の修士（法学）を取得し、筑波大学の修士（教育学）を取得する見込み。留学中には、思想政治教育に関する国際会議で、中国の道德教育改革に触れつつ、日本の道德教育改革について発表した。

●青少年の社会参画とシティズンシップ教育の推進活動

（人間総合研究科 古田 雄二）



古田さんは「湘南まちいくプロジェクト」で、代表を務めた。また、神奈川県藤沢市の青少年問題協議会委員等、まちづくりパートナーシップ事業提案制度「高校生のシティズンシップ教育の普及事業」でのプログラムアドバイザーをつとめた。さらに、日本シティ

ズンシップ教育フォーラムで運営委員・共同代表を務めている。

●不登校・引きこもり児童への心理臨床的アウトリーチ支援活動

(人間総合研究科 畠中 瑛梨)



畠中さんは、筑波大学子ども相談室で相談研修員として活躍、自宅に引きこもり、相談機関への来談意思のない不登校・引きこもりの小学生の保護者の要請に応じ、自宅に定期的に通った。プレイセラピーや箱庭療法などを基にした心理臨床的支援を継続的に提供、遊戯療法的活動やスイーツ作成の共同作業などを行った。

●高齢者が食や健康を考える「場」を創るーみんなラボ食の会の実践活動ー

(人間総合研究科 田中 伸之輔)



田中さんは、高齢者自身が食と健康に関する知識を交換したりして問題を解決することができるところをとうと考え、「みんなラボ食の会」を設立した。定例会の開催、食を学ぶ遠足の企画実施で貢献した。また、都内の貧困家庭の子どもを対象に、「農家の野菜」を使った料理体験活動を実践した。さらに、介護食について学ぶ活動等も実践した。

●筑波大学及び地域における障害学生・生徒への支援活動

(人間総合研究科 落合 優貴子)



落合さんの支援活動は、筑波大学における障害学生支援「聴覚障害学生支援チーム」で、大学内の手話通訳勉強会の講師を務め、ピア・チューター養成講座のスタッフを務めた。また、茨城県特別支援教育支援員として、つくば市立竹園東中学校の難聴学級在籍生徒に対して、パソコンによる情報保障支援を行った。

●非行の子どもを持つ親の支援活動ー非行の子どもを対象とする保護司としての活動ー

(人間総合研究科 藤本 賀彦)



藤本さんは、非行と向き合う親たちの会「あめあがりの会」の世話人として、全国大会も開催している。また、保護司としても、社会復帰に向けた支援を行った。これらの実績をもとに、筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻において、「非行の子どもと向き合う親の体験プロセス」というテーマで研究を行った。

●地域を基盤とした市民後見人に対する相談支援活動

(人間総合研究科 永野 叙子)

永野さんは、社会福祉士として認知症高齢者の権利擁護事業の生活支援をする傍ら、成年後見実施機関を訪問



し、各地域における権利擁護支援の課題整理と、市民後見人の活動内容に関する調査を通じて、市民後見人の「社会的役割」の解明に努めた。これらの研究成果を市民後見人の研修会などで報告し、実践に還元している。

●海外諸大学訪問時の運営スタッフなどの国際交流活支援活動

(人間総合研究科 ONCHI SUGUMITZU Diego Eiji(恩智 英治))



ONCHI SUGUMITZU Diego Eijiさんは、米軍子弟教育高大連携プロジェクトで、筑波大学の感性認知脳科学研究活動を紹介した。また、附属駒場中学校の授業では、TAとして活動した。さらに、ノルウェイ工科大学・南オーストラリア大学・フイリピンインマキュレートコンセプト・シオン大学・中国清華大学の各見学団に参加、プレゼンテーションとワークショップで活躍した。

●海外諸大学訪問時の運営スタッフなどの国際交流活支援活動

(人間総合研究科 張 寒)



張さんは、ONCHI SUGUMITZU Diego Eijiさんと同じく多くの国際交流支援活動に参加し実績をあげた。米軍子弟教育高大連携プロジェクトで大学の研究成果を紹介、附属駒場中学校でTAをつとめたほか、ノルウェイ工科大学・南オーストラリア大学などの見学団に参加、中国清華大学デザインワークショップなどで

も活躍した。

●熊本県復興リハビリテーションへの貢献

(人間総合研究科 橋本 幸成)



橋本さんの研究対象者は、脳損傷後の後遺症として出現する読みの障害のある人々である。自身が被災者であったが、熊本地震の被災者の介護予防を主目的とした「復興リハビリテーション」にかかわり、平成28年10月から1年半、言語聴覚士として仮設住宅を訪問、脳損傷者の心身機能のトレーニング、助言・指導を行った。

●スポーツを通じた共生社会・オリンピック・パラリンピック教育への貢献

(人間総合研究科 岩田 朋之)



岩田さんは、ロビージョンフットサル日本代表チームの主将として2017年の世界選手権に出場し、この経験を活かして2018年に「クラブアトレティコ・ソルア、<http://casolua.com>」というクラブチームを立ち上げた。このように、地域における弱者のスポーツ環境構築について、研究と実践の両面から取り組んできた。

●研究成果として開発した教育プログラムを活用した児童・生徒の健康教育活動

(人間総合研究科 稲垣 和希)

稲垣さんは、ストレスマネジメントおよびテストや部



活動での実力発揮を可能にする自身の自己調整教育プログラムの開発に取り組んだ。茨城県と千葉県の小中学校が本プログラムを導入、2016年から2018年まで6クールに渡って指導した。その結果、精神的回復力を示すレジリエンスや、感情調整スキルの向上が確認された。

●介護予防を目的とした運動ボランティアの養成および養成後の支援活動

(人間総合研究科 佐藤 文音)



佐藤さんは、全国8自治体において、介護予防を目的とした運動ボランティアを250名養成してきた。養成後には、運動指導に関する相談役、スキルアップ研修会の企画・運営等、継続的な支援を行った。また、運動ボランティアによる運動指導の効果を検証し、指導を受けた高齢者の身体機能が向上する事を明らかにした。

●子ども向けアート体験の活動支援

(人間総合研究科 浜岡 聖)



浜岡さんは、大学と地元企業の連携によるキッズアート体験企画で、工作を楽しめるブースを2018年、二期にわたり提供した。「メルトビーズで工作しよう」、「ドリームキャッチャーをつくろう」という企画がそれで、子どもの悪い夢を追いか飾りを工作した。

いずれも子どもたちの個性を活かして作り上げる支援を工夫した。

●シユタイナー教育研究に基づく児童の描画活動の支援

(人間総合研究科 吉田 奈穂子)



吉田さんは、シユタイナー学校における造形教育のうち、水で十分に湿らせた画用紙に3原色の水彩絵の具で絵を描き、色の美しさを味わう「ぬらし絵」を子どもたちが体験できる支援活動を実施した。特に、関彰商事と大学の連携プロジェクト「スタジオ'S with T」の一環である「キッズアート体験」の活動で実績をあげた。

●日本アンチ・ドーピング機構アウトリーチプログラムサポートスタッフとしての活動

(人間総合研究科 山本 哲子)



山本さんは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のサポートスタッフとして、全国高等学校ラグビーフットボール大会や和歌山国体に赴き、アスリートなどにアンチ・ドーピングの情報提供を行うと同時に、応援に來場した方を対象に、クイズ用紙を使用しアンチ・ドーピングについて楽しくわかりやすく説明するなどした。

●プログラミング的思考育成ツール による小学生向けプログラミング教育 の支援活動

(図書館情報メディア研究科 内田 早紀子)



内田さんは、日常の活動を題材としたプログラミング的思考の育成ツールの開発、それとともに小学生向けのプログラミング教室を企画実行した。つくばみらい市の陽光台小学校と富士見ヶ丘小学校におけるプログラミング教室開催、2017年・2018年の筑波大学雙峰祭におけるプログラミング教室などで実績をあげた。

●若手研究者の異分野交流推進と 研究成果の社会への発信に関する貢献

(グローバル教育院 小木曾 里樹)



小木曾さんは、全国のリーディング大学院生300名以上が集まる学生会議(2016年7月)の所属プログラム代表である。活動成果は、日経BP等に掲載され、文科省の公的資料にも紹介された。また、IEEE関連団体の副実行委員長として100名規模の若手交流会を2016・17年に主催、IEEE Region 10のニューズレターに紹介された。

受賞者紹介 (芸術部門)

※作品はグラビア頁をご覧ください。

●臨 古筆手鑑「かりがね帖」

(芸術専門学群 笠原 葵)



作品…紙本墨書・帖
製作年…2018年度
卒業製作

寸法…縦38・5cm 横885cm

世話人(指導)教員名…森岡 隆

選考委員会開催時の作品所在…6A404

●BEST PICTURE

(芸術専門学群 小山 莉瑛子)



作品…紙、インクジェット
プリント
製作年…2018年

寸法…縦72・8cm 横51・5cm

世話人(指導)教員名…原 忠信

選考委員会開催時の作品所在…6A208

●Cantabile 1995

(人間総合科学研究科博士前期課程芸術選考 大井 真希)



作品…陶
製作年…2019年

寸法…縦180cm 横350cm 奥行100cm

世話人(指導)教員名…齋藤敏寿

選考委員会開催時の作品所在…6A208

著 書 紹 介

『PSルール』句構造規則による

英文解釈の新法則

著 者…重藤 辰治(38年教大英)

本の大きさ…B6判 全216頁

発行 所…芸術新聞社

発行年月日…2015年9月18日

音声重視の語学学習の今日、音声は聞いた順に理解しなければならない。文字も見た順に理解することが正道である。英文構成の具体的な知識を身につけたい人、文が整然と組み立てられている姿を知りたい人、ネイティブ並みに英文を前から理解することを望んでいる人は、ぜひ本書によって学ばれることをお勧めする。

(帯封から)

目次概要

I 入門編

品詞・文・句の基礎知識

II PSルール編

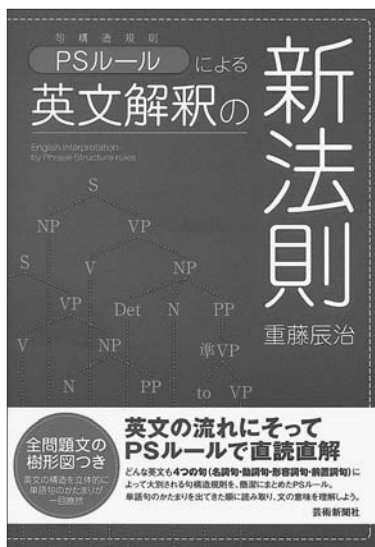
名詞句NP・動詞句VP・形容詞句AP
前置詞句PPをもとに

規則化された16のルール

III 樹形図編

英文の全体像を立体的に捉える

全問題文の樹形図



平成30年度 茗溪会賞（大学院修了者）受賞者（順不同）

H31.3.22

研 究 科	課 程	専 攻	氏 名	フリガナ	備考
教育研究科	修士課程	スクールリーダーシップ開発専攻	布施 智瑛	フセ トモアキ	
	修士課程	スクールリーダーシップ開発専攻	原澤 芳春	ハラサワ ミチカズ	
	修士課程	教科教育専攻	吉岡 美紀	ヨシオカ ミキ	
	修士課程	教育学(国際教育)修士プログラム	小川 玲	オガワ レイ	
ビジネス科学研究科	専門職学位課程	国際経営プロフェッショナル専攻	西村 亜紗	ニシムラ アサ	
数 理 物 質 科学研究科	博士後期課程	電子・物理工学専攻	HAWA ALIMA BINTI ABDUL LATIFF	ハワ アリマ ビンティ アブドゥル ラティフ	
	博士後期課程	物性・分子工学専攻	林 宏紀	ハヤシ ヒロキ	
	博士前期課程	物性・分子工学専攻	麻生 史拓	アソウ フミヒロ	
	博士前期課程	数学専攻	佐藤 祐弥	サトウ ユウヤ	
	博士前期課程	数学専攻	日浅 龍太	ヒアサ リュウタ	
システム情報 工学研究科	博士前期課程	社会工学専攻	赤西 祐里奈	アカニシ ユリナ	
	博士前期課程	社会工学専攻	川崎 薫	カワサキ カオル	
	博士後期課程	リスク工学専攻	長谷川 大輔	ハセガワ ダイスケ	
	博士前期課程	知能機能システム専攻	遠山 弘晃	トオヤマ ヒロアキ	
	博士後期課程	知能機能システム専攻	宮本 隆典	ミヤモト リュウスケ	
	博士前期課程	構造エネルギー工学専攻	木村 雄生	キムラ ユウキ	
生 命 環 境 科学研究科	博士後期課程	地球進化科学専攻	主森 亘	トノモリ ワタル	
	博士前期課程	山岳科学学位プログラム	松村 健太郎	マツムラ ケンタロウ	
	博士後期課程	生物機能科学専攻	水上 早瀬	ミズカミ ハヤセ	
	一貫制博士課程	環境バイオマス共生学専攻	木村 郷子	キムラ サトコ	
人間総合研究科	博士前期課程	教育学専攻	宮本 慧	ミヤモト ケイ	
	博士後期課程	教育基礎学専攻	古田 雄一	フルタ ユウイチ	
	博士前期課程	心理専攻	畠中 瑛梨	ハタナカ エリ	
	博士後期課程	心理学専攻	田中 伸之輔	タナカ シンノスケ	
	博士前期課程	障害科学専攻	落合 優貴子	オチアイ ユキコ	
	博士前期課程	生涯発達専攻	藤本 賀彦	フジモト ヨシヒコ	
	博士後期課程	生涯発達科学専攻	永野 叙子	ナガノ ノブコ	
	博士前期課程	感性認知脳科学専攻	ONCHI SUGUIMITZU Diego Eiji 日本語名 恩智 英治	オンチ スギミズ ディエゴ エイジ 日本語名 オンチ エイジ	
	博士前期課程	感性認知脳科学専攻	張 寒	チョウ カン	
	博士後期課程	感性認知脳科学専攻	橋本 幸成	ハシモト コウセイ	
	博士前期課程	体育学専攻	岩田 朋之	イワタ トモユキ	
	博士後期課程	体育科学専攻	稲垣 和希	イナガキ カズキ	
	博士後期課程	体育科学専攻	佐藤 文音	サトウ アヤネ	
	博士前期課程	芸術専攻	浜岡 聖	ハマオカ サト	
	博士後期課程	芸術専攻	吉田 奈穂子	ヨシダ ナホコ	
	3年制博士課程	ヒューマン・ケア科学専攻	山本 哲子	ヤマモト テツコ	
図書館情報 メディア研究科	博士前期課程	図書館情報メディア専攻	内田 早紀子	ウチダ サキコ	
グロ ー バ ル 教 育 院	一貫制博士課程	エンパワーメント情報学プログラム	小木曾 里樹	オギソ サトキ	

平成30年度 茗溪会賞（芸術部門）候補者（順不同）

H31.3.22

所 属	領 域	氏 名	フリガナ	備考
芸 術 専 門 学 群	書コース	笠原 葵	カサハラ アオイ	
	ビジュアルデザイン領域	小山 莉瑛子	コヤマ リエコ	
人 間 総 合 科 学 研 究 科 博 士 前 期 課 程 芸 術 専 攻	クラフト領域	大井 真希	オオイ マキ	

2019年度 一般社団法人茗溪会 公益・共益・広報等 年間行事計画

1. 公益事業

(1) 公開講座

① 東京地区

② つくば地区

(その1)「大河ドラマ『いだてん』について」 講師：真田 久 筑波大学教授

日時：2019年6月29日(土) 14:00～

会場：茗溪会館アゴラホール

(その2)「英語シリーズ」第18回 講師：藤原 保明 先生

日時：2019年11月9日(土) 14:00～

会場：筑波研修センター

* 公開講座の報告(概要)等は、季刊誌「茗溪」に掲載の予定。

* 地域組織等が主催する公開講座、講演会の共催・助成も行う。

(2) 顕彰(第18回)

① 対象 筑波大学の教育・研究活動の内容を、社会に対して分かりやすく伝えるアウトリーチ活動等に従事し、大学院における勉学や研究の成果を生かした顕著な社会貢献活動を行った修了者(1年以内に修了した者を含む)並びに優秀な作品を制作した芸術専門学群の学生等とする。

② 対象者の選定

各専攻修了者の中から専攻長が推薦する大学院生等について、学内に置かれた選考委員会で選考した結果について、理事長の承認を得る。

③ 授与方法 各専攻の学位記授与式において専攻長より「茗溪会賞」(顕彰状及び副賞)を授与する。

* 顕彰者及びその活動内容については、季刊誌「茗溪」に掲載する。

2. 共益事業

筑波大学生活動等への支援強化、会員の世代間や各地域組織等をつなぐ活動の充実強化、会員相互の交流の推進等を図る。

(1) 「追悼のつどい」の開催

脱宗派として開催し、遺族、関係者を招き、逝去された会員等の遺徳を偲ぶ。

期日：2019年9月28日(土)予定

会場：茗溪会館

(2) 学生の就職活動を支援するため、大学が開催する各種講座への情報提供及び協力。

(3) 年始と暑中見舞いの時期に合わせて、会員間の交流を深めるための広告を季刊誌「茗溪」に掲載。

3. 広報事業

(1) 季刊誌「茗溪」の発行

季刊誌の発行は年4回とし、特集記事、筑波大学関連の記事、会員情報等を中心に内容の充実に努める。

なお、季刊誌「茗溪」の配布先は4回とも正会員のみとし、春号と秋号の配布に際しては筑波大学新聞を同封する。

(2) 茗溪会HP掲載内容等の充実

茗溪会HPでは、季刊誌「茗溪」を再掲するほか、茗溪会主催の公開講座の情報、各地域組織の活動状況、企業人の集まりの情報、筑波大学関連の各種情報等をスピーディに掲載し、季刊誌「茗溪」と併せて、会員相互の連携を深めるためのツールとして、一層の充実を図る。

一般社団法人 茗溪会(第八回)

2019年度 定時総会開催のご案内

※日 時：2019年5月23日(木) 午後1時30分から

※場 所：茗溪会館二階「茗溪」の間

※議 題：2018年度事業報告、決算報告、2019年度事業計画(案)予算(案)。また、総会終了後、懇談会を予定しております。

2018・2019年度 一般社団法人茗溪会 代 議 員 一 覧

推薦地域組織	姓 名	卒年卒科・群	推薦地域組織	姓 名	卒年卒科・群	推薦地域組織	姓 名	卒年卒科・群
筑波大	清水 諭	平3筑博体	東京	柳 久美子	昭50教大体	静岡	岡 熊野 善介	昭55筑修教
筑波大	本谷 聡	平11筑修体	東京	飯島 睦子	昭56筑修教	静岡	岡 齊藤 浩幸	昭58筑二農
北海道	大沼 寛	昭47教大武	東京	田中 修	昭54筑二農	静岡	岡 綾部 信明	昭58筑体
北海道	山本 伸弘	昭52教大健	東京	浅井 一郎	昭55筑一人文	愛知	知 村松 利之	昭53筑体
青森	花田 慎	昭56筑体	東京	上村 肇	昭55筑一社会	愛知	知 竹下 裕隆	昭56筑一社会
岩手	佐藤 有	昭58筑二農	東京	徳田 安伸	昭55筑二農	愛知	知 高畑 尚弘	昭58筑二生
宮城	小野寺清隆	昭55筑体	東京	金田 喜明	昭56筑一人文	岐阜	阜 大橋 則雄	昭57筑二人間
秋田	越後谷真悦	昭55筑体	東京	竹村 恭一	昭56筑一自	滋賀	賀 脇坂 高峰	昭56筑体
山形	津田 浩	昭58筑一自	東京	笹 のぶえ	昭56筑二比文	三重	重 阿形 克己	昭57筑体
福島	新田 銀一	昭50教大数	東京	渡邊 悟	昭62筑博農	京都	都 川合 英之	昭56筑体
茨城	仙波 操	昭50教大農経	東京	久保 淳	昭56筑体	大阪	阪 松本 秀範	昭53筑修林
茨城	郡司 丈児	昭53筑一人文	東京	塩津 真	昭62筑修経	大阪	阪 岡村多加志	昭55筑一自
茨城	武井 一郎	昭54筑一自	東京	真当 哲博	昭57筑二人間	兵庫	庫 中野 憲二	昭56筑一人文
茨城	高瀬 宏樹	昭55筑一自	東京	秋葉 康浩	昭58筑二比文	奈良	良 谷垣 康	昭53筑一人文
茨城	鈴木 一弘	昭58筑修教	東京	松村 直樹	昭61筑三社工	和歌山	歌 土肥 二郎	昭57筑一自
茨城	中島 博司	昭57筑一人文	東京	堀川 勝史	昭61筑体	鳥取	取 小倉 健一	昭53筑体
茨城	萩原 篤	平1筑修理	東京	三橋 浩志	昭63筑一自	鳥根	根 野々村 卓	昭58筑一人文
栃木	齋藤 宏夫	昭58筑修教	東京	井上 芳明	平1筑体	岡山	山 長尾 隆史	昭55筑体
栃木	若杉 俊明	昭57筑一人文	神奈川	佐々木悦子	昭46教大体	広島	島 大辻 明	昭47教大体
群馬	馬 市川 敏美	昭57筑二比文	神奈川	本木 幹雄	昭50教大体	山口	口 吉本 晃	昭54筑二人間
群馬	馬 丸橋 覚	平2筑修教	神奈川	山崎 紀彦	昭53教大農経	徳島	島 安永 潔	昭55筑二農
埼玉	玉 奥谷 多作	昭34教大工芸	神奈川	大畑多津雄	昭52教大数	香川	川 山本 主税	平1筑一人文
埼玉	玉 矢嶋 章司	昭35教大体	神奈川	大石 進	昭56筑体	愛媛	媛 八木 俊博	昭57筑体
埼玉	玉 前島 富雄	昭47教大木工	神奈川	中道 徹	昭58筑二生	高知	知 下坂 速人	昭53筑体
埼玉	玉 細田 幸一	昭50教大独文	山梨	山本 英樹	昭56筑一自	福岡	岡 永沼 真紀	昭57筑体
千葉	葉 青木 寛	昭48教大武	長野	平野 吉直	昭54筑体	佐賀	賀 小川 聡	昭55筑体
千葉	葉 植草 完	昭52教大体	長野	田澤 直人	昭57筑一人文	長崎	崎 渡邊 孝経	昭59筑体
千葉	葉 内藤 秀子	昭53筑体	長野	竹村 和也	昭57筑三基	熊本	本 赤星 隆弘	昭58筑体
千葉	葉 猿渡 末治	昭55筑一自	新潟	潟 内野 信昭	昭56筑体	大分	分 渚 洋行	昭53筑体
千葉	葉 小宮山伴与志	平1筑博体	富山	山 神田 聡	昭58筑修教	宮崎	崎 児玉 洋一	平2筑三社工
東京	中村 穎司	昭35教大國	石川	濱辺 正実	昭53筑体	鹿児島	児 島 原口 和哉	昭56筑一自
東京	高橋 誠	昭41教大心理	福井	井 平井 喜浩	昭58筑体	沖縄	縄 前門 晃	昭58筑博理
東京	桜井 裕	昭49教大法政						

占春園再生プロジェクト報告

「落英池のかいぼり」

茗溪会理事 水戸市植物公園園長

西川 綾子

◆美しい落英池に戻すために「かいぼり」

2019年に入り、再生プロジェクトが本格的に始まりました。まずは占春園の中心部に位置する約420㎡ある落英（らくえい）池の掃除です。「落英」とは「散る花びら」「散った花びら」という意味がありますから、花びらが舞い落ちる風情のある池であったと想像されます。インターネットで東京教育大学新聞会OB会のページにある1967年6月26日に水沢千秋氏が撮影された画像は水面に木々が写った美しい池のようでした。

延享3年（1746）に建てられた碑文には「我が公の園は占春と名づく。その中見る所は、梅桜桃季、林鳥池魚、緑竹丹楓、秋月冬雪、凡そ四時の景有らざるは莫し。」とあります。四季折々変化する木々の美しさを、この池は映し出していたことでしょう。そんな美しい池に戻すため、かいぼりが計画されました。

かいぼりは、ため池を良い状態で保ち続けるための管



理作業の1つです。池の水を抜いて池の底にある泥をさらい、魚を捕まえます。在来種を保護するため、外来種の魚やカメなどは捕まえて取り除き、

生態系の調和の回復を図れば、美しい水の復活と同時に生き物の賑わいも生まれるでしょう。最近では、かいぼり作業の様子が人気テレビ番組になり、関心のある子供達が増えています。

そこで、かいぼりを単なる池掃除と捉えるのではなく、生きた理科教育の場として近隣の子供達に参加してもらってはどうか、と茗溪会会員の海老澤敬子さんをはじめ、NPO法人 大江戸の皆様のご協力をいただき、小学生親子のかいぼり参加が実現しました。

◆かいぼり研修会

作業を行う前に「かいぼりってなあに？」の学習会を筑波大学東京キャンパスで、1月6日に実施しました。講師は実際の作業を委託した、認定NPO法人 生態工房の皆さんです。

バームクーヘンやお茶の差し入れをいただき、和やかな雰囲気の中、関係者の挨拶が終わると、かいぼりの話が始まります。子供達の嬉しくてワクワクする気持ちが会場にいと伝わってきます。説明の中で「これはなあに？」魚の画像を見せて訊ねると「モツゴ！在来種だよ」と言った具合に、

元気よく答える参加者の男の子。池の中にいる生物に大変詳しく、関心の高さが伺えました。子供達にとってかいぼりは、何が出てくるのかわからない宝探しのかもしれないかもしれません。

ではここで、かいぼり作業の



内容をご紹介します。

- 1 作業は秋から冬に行く。
- 2 池の水を抜く。
- 3 魚や生きものを取る、取り除く。
- 4 泥をさらう。下流へ流す。
- 5 池底を干す。乾かす。
- 6 土手や水門を検査・直す
- 7 水を入れる

池の底を乾かすと、土の表面がひび割れし、このヒビの隙間から、さらに深い土の中に酸素が届きやすくなるそうです。

そして本番は翌週の1月13日。汚れても良い服装で、全身泥まみれになることを覚悟のうえご参加を。着替えやシャワーは隣接の施設をお借りしましたので、ご利用いただき、雨天は実施、雪は延期！そんな注意事項を伺って、一同解散しました。

◆1月13日 かいぼり実施！

私が9時前に占春園に着くと、池の水はポンプで抜いている最中でした。NPO生態工房の皆さんに、ボランティアスタッフの皆さんと、胸元まであるゴム製の防水ブーツに着替え、今日の作業と担当の確認後、受付場をセッットします。

テントを設置し、のぼり旗「1日水族館」を立て、本日捕らえた生物を観察するコーナーを作ります。「外来種はどんな影響を与えるの？」関連のパネルも掲示され、学習として行うかいぼり作業の重要性を参加者に伝えま

す。参加者が集まって関係者挨拶後、生態工房スタッフから作業のポイントや注意事項の説明がありました。じつはこの方、筑波大学の卒業生である片岡友美さんで、知らないうちに茗溪つながりだったというのは素晴らしいことでした。教育を大事にする活動もうなずけますね。「じゃあ、みんな頑張ろう。えい！えい！オー！」と参加者はやる気満々。次々とドロドロの落英池に入っていくとあ

つという間に、大きなコイやカメなどを捕まえます。頬に泥が付いても平気。1時間30分ほどで大物は捕獲できたので「筑波大学 茗溪会」の旗を持ち、ドロドロの池の中で記念撮影。作業終了後は、提供された甘酒をいただきますながら、1日水族館で展示された在来種のギンブナ、モツゴなどを観察する子供たちは、満足そうでした。



午後はスタッフとともに私も池の中に入って作業しましたが、泥が重く足がハマって動かないこともしばしば。大物は午前中に捕獲したので、私が捕まえたのは主に外来種のカダヤシとゴミ

ベきは、池の中で作業するスタッフは女性が多いこと。頼もしい限りでした。

捕らえた在来種は筑波大学附属小学校の協力をいただいてプールの中で飼育します。事務局が餌やりに出かけていますから、以前より太って池に帰ることでしょう。

当日の様子は1月22日の東京新聞で〈江戸の名園、再生を目指す 文京の占春園で「かいぼり」のタイトルで大きく紹介されました。岩田敏昭事務局長代理のインタビューの言葉どおり「日本庭園らしく再起させ、バツハ会長（第9代国際オリピック委員会会長）にも招待状を送りたい。区民らの憩いの場になれば」が目標です。

◆筑波大学建学記念樹 シロマツについて

さて作業を終え、占春園入口近くの坂道を登っていた



てネットでも紹介されている「シロマツ?」

せん。 さっそく筑波大学育林学研究室の同級生に画像を送り、シロマツと判明しました。

昭和49年に発行された「農芸読本（筑波大学建学記念出版）／古谷春吉 著」によると、「伝統ある『駒場精神』をここに移し植えんがために、世界の珍木、日中親善の目的で北京市長から贈られた『白松』を建学記念樹として同窓生有志から贈った。」とあります。現在の状況では、古谷先輩が大いに悲しむことでしょう。

占春園の作業は始まったばかりです。冬の間に樹木を伐採すれば、初夏には明るくなった園内に雑草が猛威を振るうことでしょう。除草し、庭園の環境にあった植物を植栽しないといけません。シロマツのお手入れと説明板も必要でしょうし、落英池の今後にもなります。今回の「かいぼり」のように、占春園で理科や歴史の学習

会を進めながら、次の世代に引き継いでいきたいものです。一緒にできることがあれば、皆様もぜひご参加ください。

シロマツ（白松） Pinus bungeana

マツ科マツ属

原産地…中国北西部

別名 ハクシヨウ、サンコノマツ

特徴

高さ20～30mの高木。まだら模様樹皮が剥がれ、幹が黄・褐・緑色になるが、成長すると樹皮は白色に変わって美しい。樹齢800～1300年の物が確認され、長寿である。聖木として扱われることが多く、寺院に聖木として植栽されている。

かいぼりの参考文献

「よみがえれ！私たちの池 かいぼりがわかる本」

著者…林 紀男

発行…認定NPO法人 生態工房



占春園覚書き

筑波大学人文社会系教授

伊藤 純郎

はじめに

平成31年1月28日付で発行された『筑波大学新聞』第347号に、1月13日、茗溪会の主催で筑波大学東京キャンパスの庭園「占春園」にある「落英池」(約423平方メートル)の水を抜く「掻い掘り」が行なわれたという記事が写真とともに掲載された。

「掻い掘り」は、池の清掃と外来生物の駆除を目的としたもので、文京区周辺の地域活性化を目指すNPO法人などの協力のもと、一般募集で集まった小学生約30人と保護者が参加。泥水の中でコイやミシシippアカミミガメなどの外来生物を捕獲したという。



掻い掘り後の落英池

占春園

東京キャンパス(かつての大塚キャンパス)の校地は、万治2(1659)年、常陸水戸藩の初代藩主徳川頼房の第四子で光圀の弟、のちに水戸藩支藩である額田藩の初代藩主となる松平頼元(元)に与えられた屋敷の跡地である。大塚吹上という地名にちなみ「吹上邸」と呼ばれ、次第

に増地して6万2千坪に及んだといわれる。頼元の子頼貞は、額田藩から陸奥守山藩主に転じたが、吹上邸はそのまますて敷として使われた。

占春園はこの吹上邸の「園池」である。占春園と命名したのは頼貞の子で、荻生徂徠に師事した好学藩主頼寛。占春園は、池沼を配し、杜鵑(ホトトギス)の名所として知られた。品川沖まで遠望できることから名付けられた観濤閣では頼寛の招きで徂徠学派の文人墨客が清遊するなど、青山の池田邸、溜池の黒田邸とともに、江戸の三名園に数えられた。庭園の周りにある崖地には1尺6寸(約48センチ)にも及ぶ竹が叢生し、冬春に庭園内の池沼に飛来する鴨とともに、水戸松平家にとって貴重な収入源(「手許費用」)になったといわれる(『東京市史稿』遊園篇第1、東京市役所、1929年)。

「占春園碑」

落英池畔には、占春園の由来を記した「占春園碑」が、20年余の風雪に耐えながら建っている。この石碑は、高さ1・4メートル、幅0・77メートルの鉄平石で、延享3(1746)年春に造立された。碑文は、松平頼寛に命じられた家臣の岡田宜汎が撰び、宇留野震が揮毫した。



占春園碑

現在、石碑そのものに破損があり、磨滅も甚だしく、碑文を判読することは難しい。だが、『東京市史稿』遊園篇第1では、次のように紹介されている。

春□碑

我公[○]頼寛[○]之園名[○]占春[○]。其中所[○]觀梅桜桃李、林鳥池魚、緑竹丹楓、秋月冬雪、凡四時之景、莫[○]不[○]有焉。而以[○]占春[○]者何也。園旧有[○]古桜樹[○]、蔽[○]帶数丈、春花可[○]愛、夏蔭可[○]憩。先君恭公[○]頼元[○]之少壯也、馳[○]馬試[○]劍、每繫[○]二[○]靶於此樹[○]而憩焉。因名云[○]駒繫[○]。至[○]三[○]莊公[○]頼房[○]之幼[○]也、猶乃視[○]之。於是暮年花下開[○]宴、每[○]會[○]三[○]子[○]弟[○]、必指[○]樹稱慕焉。我公[○]頼寛[○]追慕眷恋、專心所[○]留、遂繞[○]此樹[○]、增[○]植桜数百株。花時會[○]賓友[○]、鼓[○]瑟吹[○]笙、式燕以[○]教。旨酒欣欣、燔炙芬芬、般核維旅、羽觴無[○]算、豈啻[○]四美具乎哉。物其多矣、維其嘉矣、偕[○]誼[○]既醉之章、且獻[○]南山之壽。我公[○]稱[○]觴顧命[○]臣[○]宜汎[○]曰、彼瞻[○]匪亦所[○]為、後世子孫、徒為[○]遊樂之場。是懼焉、子為[○]余書[○]于石[○]。宣汎捧檣首曰、桑梓有[○]敬、燕胥思[○]危、誦[○]美有[○]辭、陳[○]信無[○]愧、謹壽[○]斯石[○]、万有千載、本支百世、永承[○]景福之賜。時[○]春三月

岡田宜汎捧檣
宇留野震謹撰

右の碑文を、東京教育大学名誉教授鎌田正は、以下のような「書き下し文」にしている(一)は鎌田氏による補注、(二)は筆者による補注。

我が公(松平頼寛)の園は、占春と名づく。其中、観る所は、梅桜桃李、林鳥池魚、緑竹丹楓、秋月冬雪、凡そ四時の景、有らざるは莫し。而して名づくるに占春を以てする者は何ぞや。園は旧古桜樹有り、蔽^一帯(草木が茂る)たる数丈。春花愛す可く、夏蔭憩ふ可し。

先君恭公(頼寛の祖父頼元)の少壮なりしとき、馬を馳せ剣を試み、毎に靶を此の樹に繫ぎて憩へり。因りて名づけて駒繫といへり。

莊公(頼寛の父頼貞)の幼なるに至るまで、猶ほ之を視るに及ぶ。是に於て暮年まで、花下に宴を開き、子弟を

会する毎に、必ず樹を指して称慕せりといふ。

我が公（頼寛）追慕眷恋し、心を留むる所に専らにし、遂に此の樹を繞り、桜数百株を増植し、花時に賓友を会し、瑟（弦楽器、箏の大きいもの）を鼓し笙を吹き、式て燕し以て敖び、旨酒欣欣、燔炙（焼き肉）芬芬、穀核（肉やくだもの）維れ旅ね、羽觴（盃の一種）算無し。豈に啻だに四美具はるのみならんや。物其れ多く、維れ其れ嘉なり。偕に既酔の章を謡ひ、且つ南山の寿を獻す。

我が公（頼寛）觴を称げ、顧みて臣宜汎に命じて曰く、彼の瞻匪（美景を眺め有徳の先君をしのぶこと）も亦為す所。後世子孫、徒らに遊樂の場と為すを是れ懼る。子余が為に石に書せと。宣汎捧じて稽首して曰く、桑梓敬する有り、燕胥して危きを思ふ。美を誦して辞有り、信を陳べて愧づる無し。謹みて斯の石に寿ぐ。万有千載、本支百世、永く景福の賜を承けんことをと（鎌田正「占春園の碑」『桐葉』第61号、東京教育大学学生部、1977年1月15日）。

占春園と命名された由来をもつ古桜樹や、桜花の春に催された佳会の盛宴など、「恭公」（頼元）・「莊公」（頼貞）・「我公」（頼寛）に至る水戸松平家3代の占春園にまつわる興味深い話が記されていることがわかる。

東京高等師範学校移転

維新後、旧守山藩邸の地は、幕府御儒者で明治3年に昌平学校教授を辞した芳野金陵が約4万5千坪を購入、郷里の下総國小金原近傍より招いた農民により開墾された。この時、占春園は「大樹喬木、鬱々陰々」といった状況であった。だが、開墾に支障をきたす「日光を遮蔽する樹木」は伐採されたものの、大池周辺の園景には「敢て改修を加へず」、花木や苔石に彩られた占春園では「観花宴遊」の会などが開かれた。

しかし、金陵没（明治11年）後、開墾事業は不振となる。「此園の林泉も、年を遂ひて、漸々荒蕪に属しけるも、園主世継君敢て之を脩理するに至らず、荒蕪のまゝにて保有」していた。

湯島聖堂に隣接する昌平坂学問所（昌平黌）跡地に明治5年5月に創設された師範学校の移転話が持ち上がったのは、明治34（1901）年のことである。

芳野氏の所有地に着目した文部省は「園主世継君」と交渉、この結果、約2万坪の土地が1坪4円の廉価で文部省に売り渡された。さらに「世継君は、師範学校の為めなればとて、更に五千坪を、無代償にて贈与せられた」。この時、「占春園の大池は、高等師範学校新築の後に、寄宿舎等建設の為に、之を埋めたれども、今猶其小部分の水面を留めて、当年林泉の余景を残存したという（小澤主次郎『明治園芸史第十篇 明治庭園記』日本園芸研究会、1915年）。

明治36年4月、前年3月に高等師範学校から改称された東京高等師範学校の移転が完了する。学校長は、明治34年5月、三たび高等師範学校長に就任した嘉納治五郎。嘉納はその後、大正中期に本格化する東京高等師範学校の大学昇格運動・運動のなかで宣揚歌「時は来れり」が作られる、が一段落する大正9（1920）年まで学校長を続ける。

この間、嘉納は、アジア初のI.O.C委員・大日本体育協会初代会長に就任、東京高等師範学校の金栗四三と東京帝国大学三島弥彦の二人が出場した第五回オリンピック競技会（ストックホルム、1912年）に日本選手団長として参加した。

おわりに

「東大に三四郎の池があるごとく、古い茗溪の卒業生の中に占春園が棲んでいる」（大坂泰「占春園の記」『茗溪』第98号、1989年7月）。

この一節に象徴されるように、大塚キャンパスで学生生活を送った者にとって占春園は「青春のなつかしい思い出の場」である。

このことは、「野山の霞後にして 都大路の花吹雪 分けては集ふ大塚の 占春園の朝ぼらけ」（葛原しげる作詞「桐花寮の歌」昭和6年）、「占春園の朝ぼらけ 映ゆる桜の虹に」（井上武士作詞「寮歌」昭和7年）、「占春

園に春たけて 池畔の梧葉かをる時」（駒柵実作詞「寮歌」年代不明）など、時々の「桐花寮歌」の歌詞に、占春園がよまれていることからもうかがえる。

しかし、筑波キャンパスで生活する者にとって、占春園の存在は、園内に建つ嘉納治五郎の銅像も含め、ほとんど知られていない。

現在、「茗溪創基150年記念事業」として、占春園を「当初の日本庭園に復元」させるとともに、「地域住民の文化的・教育的利用をはかる仕組みを構築」することを目的に、「占春園再生プロジェクト」が進行中である。ぜひ一度占春園に足をお運びいただきたい。



現在の占春園一角(2019年3月末)

第3回「茗溪・筑波産業人倶楽部」

「企業は人なり」

2019年2月16日(土)午後3時から茗溪会館において、第3回目の茗溪・筑波産業人倶楽部(以下、産業人倶楽部)が開かれました。「教育界にある茗溪会の太い柱と並ぶ産業界の太い柱を作りたい」という趣旨の会ですが、総合大学となり半世紀を迎えようとしている筑波大学の学生の就職などの支援もしようと、活発な意見の交流が行われました。

第一部の意見交換会に続き第二部の懇親会でも、三井住友海上の池田隆、日本銀行の吉田豊、浜銀総合研究所の田中伸明、筑波大学チーフキャリアアカウンセラーの瀧下芳彦、A I S キャピタルの肖敏捷の5人の方々のスピーチの後、盛んに情報交換や異分野交流が行われ、50名に近い先輩、同輩、後輩が和気藹々と交流しました。

◆江田理事長と金保副学長の挨拶

冒頭に、江田昌佑茗溪会理事長と金保安則筑波大学副学長から挨拶がありました。

●江田理事長「ITと人間教育の両立が大切」



江田理事長

いつも茗溪会の活動にご理解、ご協力を頂き感謝いたしております。また、今回、第3回目の産業人倶楽部となりませんが、多くの方々にご参加頂きまして感謝いたします。「茗溪会は教育界の集まりと聞いていたが、官界、財界など各界にたく

さんの人材がいますね」と言われます。今や筑波大学から教育界に進む者は少数派です。茗溪創基150年となりますし、新しい元号にもなりますので、茗溪会も新しい歴史を刻んでいってほしいと思っております。

文部大臣もされた有馬朗人元東大総長は、「ITと人間らしい教育の両立を考える時代に入ってきた。テクノロジーを過信しすぎてはいけない。それとともに、子どもは学校の中で、先生との関係や子どもたち同士の関係などの様々な人間関係の中で人間形成をしていくことが大切である。教育界としてはITの活用をしつかり吟味すべきで、人間としての教育を問い直したい。」と書いていますが、今それを考えるべきときだと思います。

今日は、「企業は人なり」ということで話があります。が、大いなる議論を期待しております。

●金保副学長「企業と大学の共同研究を進めていきたい」



金保副学長

現在、筑波大学で産学連携の担当をしています。本会が発足して2年目ということですが、ぜひ、日本一、世界一の産業人倶楽部になってほしいと念じています。その手がかりの一つとして、日米の大学の研究と企業との関わりについて述べます。世界100カ国の研究者が集まって筑波大学で開催しているTGSWで講演したシュナイダー教授(インターネットの発明者といわれる)が、論文の被引用回数から研究の成果が分かるのだが、一つの研究室だけでの研究はだめで、他大学との共同研究よりもさらに企業と大学との共同研究が一番優れていると話しました。日本では、企業と大学との共同研究はまだまだ少ないので、ぜひ、本会をきっかけにして、大学と企業との共同研究をどんどん進めていってほしいと考えています。

◆第一部の「意見交流会」

廣田則夫(日立建機教習センター社長)をコーディネーターとして、河本武(ユーハイム会長)と谷出正直(採用コンサルタント/採用アナリスト)の両氏から意見が述べられ、さらにフロアとの質疑応答がありました。

●河本武「人こそ企業の宝。教育学的经营を。」



河本 武氏

「白鳥の詩ー企業は人なりー」という渾身の資料をもとに熱心に話されました。

氏は、50年以上ユーハイムというお子の企業を经营され、その間に神戸の地方企業を売上高100倍の300億円の有力企業に成長させました。その秘訣は、前向きで明るく素直な考え方を持ったこと、「人こそ企業の宝」の考えから人の成長を座標軸に置き教育学的经营をしたこと、「全従業員のもの心両面の幸福の追求と人類社会の進歩発展に貢献すること」を经营理念としたこと、ドイツの銘菓バウムクーヘンに食品添加物を使わないことで差別化を図ったこと、強烈な願望を抱いて誰にも負けない努力をしたことなどであるとい

います。筑波大学の学生には、良き指導者、上司となつて、部下を率いる人材になってほしいと考えているということでした。

●谷出正直「今の若者気風にあったアプローチを」

「企業は人なりー今の大学生および就活と関わり方ー」ということで、今の大学生の様子、就活の様子、その大学生への関わり方について話されました。今の大学生の特徴として、家から余り出ずにネットや



谷出正直氏

ゲームを行い、物欲はなく貯蓄に熱心で、お酒も飲まないで新歓コンパはカフェで行うことが多い、一人カラオケ、一人焼き肉など

個々に気楽さを好む傾向があるということです。就活での決め手として「自分の成長が期待できるか」が最上位にあるのは、変化の激しい時代に生涯一社というより、当社で力を付けて再就職が可能になることを考えているからです。「福利厚生」や「希望する地域で働けるか」なども上位にあります。それは最初の選択肢として良いかどうかを考えているからで、入社一年目から4割は転職を考えていて、いつ二社目にいくかが思案のしどころと考えてるようです。

こういう若者と関わる時には、承認要求があるので、私は味方であるというスタンスが大切で、指示だけするのではなくなぜを伝える必要があります。また、叱るときは個別に行い、褒めるときは皆の前で行うことが大切だと思います。

●質疑応答（一部、回答は河本氏）

Q…経営に情熱が必要と思うが、それが通用するのか。

A…より大事になってきている。働く人の思いを共有できることが大事。全員でビジョンを共有することが大事です。

Q…社員とのコミュニケーションはどうしているのか。

A…自作の資料を作って社員の研修をすることによって通じている。社員からは「親父」のようにみられています。

●廣田則夫（今後の活動の見通しは）

今後のテーマは「人づくり」です。前回、就職につい

ての情報が少ないという学生の声がありました。筑波大学の学生は、真面目だが積極性が足りないという声もありますが、先輩がきちんと導いて力を発揮できる場を与えれば大きく伸びると思いますので、そのような支援の方策を考えていきたいと思っています。

本会は、今後定例で年に4回開催します。うち2回は、これまで同様に茗荷谷で意見交換会や懇親会を行い、残りの2回は筑波大学で開催し、幅広く学生を集めて、産業界などの業界研究会や懇親会をやっていきたいと思っています。筑波大学の就職課ともタイアップし、茗溪会主催、筑波大学就職課協賛でやりたいと思っています。

就職を考えている学生の一番の関心事は、インターンシップなので、その直前の6月に開催します。また、1～2年生の方向性の定まらない学生を対象として、OBによる就職説明会を11月に開催したいと考えていますのでご協力ください。



懇親会の様子



最後にみんなで宣揚歌を合唱



「いだてん」についての発表

茗溪・東西南北

第六回・東京茗溪会総会・交流会

去る2018年12月2日(日)、第6回東京茗溪会総会・交流会が嘉ノ雅・茗溪館(旧茗溪会館)にて開催されました。東京都内の支部一本化を経て「東京都茗溪会」から「東京茗溪会」へと名称変更して2回目の会です。

総会では高橋基之会長の挨拶の後、茗溪会理事の真田久様から母校筑波大学が様々な分野で活躍していることのご報告がありました。その後の議事では全ての議案が原案通りに承認されました。特に今期は役員改選期ではないため昨年同様、高橋会長以下役員・幹事全員の継続が承認されました。

今回の目玉企画は講演会で、「オリンピックと茗溪人」をテーマにトーク形式で行われました。来年の東京2020オリンピック・パラリンピックを盛り上げるNHKの大河ドラマ「いだてん」についての内容です。演者の小林千洋様は筑波大学の社会学類一期生で、NHKに入局され大河ドラマや朝ドラのレクターとして、最近では番組情報誌「ステラ」の編集長としてNHKのドラマを知り尽くした方。もう一方の真田久様は体育学群二期生で現在筑波大学体育学系教授、東京オリ・パラ競技大会組織委員会の参与としても活躍中の方。ご専門はオリンピック史とあって、大河ドラマ「いだてん」の時代考証も担当されているということで、お二人のトークは我が国のオリンピックの歴史とドラマ「いだてん」の見方楽しみ方を深く知る内容でした。とりわけ筑波大学の前身である東京高等師範学校の初代校長である加納治五郎先生についてのお話は興味を注がれました。

先生は我が国初のIOC委員として、同時にアジア人初のIOC委員として世界に注目された方でした。これ

まで「柔道の加納治五郎」として名声を誇っていたと思っていました。むしろ国際人として力量を発揮されたことが分かりました。加納先生という筑波大学の中央キャンパスにある銅像を思い浮かべる訳ですが、偉大な先生を初代校長とした東京高師の崇高さを改めて感じたいです。

さらに、我が国初のオリンピック選手である金栗四三選手は熊本県出身で東京高師の学生でしたが、今の体育学群はなく、地理歴史の学生であったということも面白い立ち位置でした。どうして、そういう彼が我が国初のオリンピック代表選手として選ばれたのか、そんな疑問が生じる訳ですが、ドラマ「いだてん」の第1話と第2話を見れば分かるというお二人からの説明がありました。そこで今年1月からの本放送を楽しみにしていたところ、羽田沖の恐怖の大会において金栗選手が何と世界記録を出したことで出場が決まったと分かりました。しかし、金栗選手はそれがオリンピックに繋がるとはゆめゆめ思っていなかったようで、後に大変な苦勞をして1912年の第5回ストックホルム・オリンピックに繋がって行きます。何事もそうですが解説を聞くことにより物事が深く、かつ面白く理解することが出来ます。東京2020オリ・パラ大会が本場に待ち遠しい大会となりました。

また、今年の交流会では筑波大学学生歌「常陸野の」の作曲者、飯島睦子さんによる箏曲生演奏もありました。次回総会は、2019年12月1日(日)の予定です。東京1万4千人の同窓が集い人脈を広げ、出合いを通して人生の幅を広げる機会です。最近では教員系だけでなく、産業界の参加者も増えており筑波大学の人脈の広がりを体験できる会にもなっています。皆さまも今年の年末は我々筑波大学のルーツである茗荷谷の地に年末のひとときドラマ「いだてん」のようにご参集ください。きっと新しく面白く新発見に出会えると思います。

(農林二期、事務局長・徳田安伸)



筑波大学は今

ベトナム・ホーチミン市医科薬科大学が、
永田学長に名誉教授の称号を授与



Tran Diep Tuan UMP学長(左)と
永田恭介本学学長(右)

2月22日、永田恭介学長が、ベトナム社会主義共和国、ホーチミン市医科薬科大学(UMP)から、同大学と本学の10年以上の実りある交流に貢献したことにより、名誉教授の称号を授与されました。

本学のホーチミンオフィスはUMPのキャンパス内にあります。また、両校では双方の学生が実習やサマープログラムなどで活発に交流を行っています。

実践的な英語を学ぶ、職員研修を開催

2月18日、19日の2日間、本学職員の英語研修の冬季特別講座が開催されました。

人文社会系のエレナ・ツイガルニツカヤ助教が講師として、窓口でよく使う英単語やフレーズ、本学や筑波研究学園都市の紹介の仕方、電話の応対などを指導しました。

参加した職員からは、「身近なテーマでレッスンができた」「説明がわかりやすかった」などの意見が寄せられました。

今後も、国際性の日常化を進め、職員の語学力向上と国際性の涵養を図るため、様々な研修を実施していきます。



「モビリティ・アンリミテッド・チャレンジ」で世界トップ5に選出

システム情報工学研究科(博士後期課程) 知能機能システム専攻2年次の江口洋丞さん、グローバル教育院(一貫性博士課程) エンパワーマネジメント情報学プログラム4年次の佐々木海さんらの開発した、立位状態で走行できる電動式車いす「GoTo」が、「モビリティ・アンリミテッド・チャレンジ」で、製品化と社会実装を目指す最終候補5チームのひとつに選ばれました。

「モビリティ・アンリミテッド・チャレンジ」は、下肢麻痺者がより自由に移動できるための、補装具の革新的な開発を目指し、トヨタ・モビリティ基金とNesta(英国国立科学・技術・芸術基金)が共同で実施するコンペティションです。世界28カ国、80チームから寄せられたアイデアを、下肢麻痺に関する医療や福祉、ロボティクスの専門家ら11人が審査しました。

今回選ばれた5チームは試作機を開発し、来年夏に東京で最終審査の結果が発表される予定です。試作機開発の費用として、各チームには50万ドルが授与され、優勝すれば、さらに製品化に向けて100万ドルが贈られます。



「GoTo」は、実際に交通事故などで下肢が麻痺している人が、立つて移動したり生活することを支援する、新しい車椅子です。立ったり座ったりという、姿勢を変える動作の支援を、モータを使わずバネだけで実現し、人と機械が一体となって動く先進的

な技術が高く評価されました。江口さんは、「多くの人にとつての新しい靴を發明する機会を得たような気持ちです。チャレンジを通して、実験室に留まっていたアイデアが実際の課題を解決できるようになり、誰かの幸せにつなげることができると期待しています」と述べました。

※所属学年は、2019年3月現在です

「大学執行部と共に女性研究者の研究環境について考える会」を開催しました

1月21日、「大学執行部と共に女性研究者の研究環境について考える会」が開催されました。

本学では、女性研究者が抱える困難について、当事者と学長、副学長が話し合う懇談会を毎年開催しています。今年度は、同僚の男性研究者や系長も参加して行われました。

グループワークでは「①本学の支援制度」「②多様な働き方」という2つのテーマを設定し、議論を行い、活発な意見交換が行われました。

最後に執行役員および系長らが「チャレンジ宣言」として、それぞれの立場からダイバシティ推進・男女共同参画にむけてメッセージを発信しました。



2018年9月21日～2019年3月20日

相澤	鎮夫	岩村	雅朗	釜下	晃	小林	浩行	嶋田	佑貢	田中	修	西岡	勝弘	布留川	厚	山神	眞一
阿江	美恵子	上松	豊	神島	達郎	小原	孝男	嶋村	幸夫	田中	信一	西川	純	星野	敏男	山口	正
阿江	通良	氏原	悦子	神谷	晃正	小宮	要	清水	拓也	田中	拓生	西川	俊彦	前田	嘉昭	山口	松太郎
青木	俊輔	碓井	外幸	亀井	浩明	小宮	定志	清水	嘉彦	田中	宏道	西村	伸平	前田	僚也	山崎	哲彦
青木	旦治	内田	敏	鴨下	礼二郎	小山	浩	莊司	隆一	田中	守	西村	浩宣	正木	隆	山田	順一
青田	雅樹	宇野	彰	榎根	勇	近藤	茂	定村	孝	田中	竜太	新田	徹	真砂	芳夫	山田	大三
青山	和義	江口	宏一郎	河合	学	近藤	良享	白田	佳子	田畑	雅庸	根本	治	升山	義弘	山本	伸弘
赤堀	正宜	江田	昌佑	川口	千代	斎藤	興哉	荻谷	公男	田淵	英樹	野中	不二男	町田	登	結城	勝夫
浅野	克己	遠藤	知里	川崎	道子	斎藤	修一	鈴木	安孝	多門	真咲	野中	由紀	松井	康成	湯本	崇
浅野	義尋	大上	亨	川田	孝一	斎藤	隆	鈴木	幸則	津田	房枝	野間	明紀	松川	彰	横井	和樹
浅見	高明	大川	豊	河地	尚之	齋藤	哲裕	瀬川	満	手嶋	昇	萩平	慎	松下	一弘	吉田	潤
阿部	利男	大澤	良	河鍋	鬻	五月女	武治	瀬藤	康夫	寺井	正憲	長谷川	博一	松下	繁雄	吉田	俊純
阿部	聖仁	大村	武司	川端	春生	境	英俊	高岡	正幸	寺尾	壽幸	濱	照長	松下	健	吉田	右子
綾部	信明	大山	康彦	川本	太郎	坂入	浩	高員	穰	寺本	新輔	濱方	克彦	松田	浩	吉田	由治
新井	達郎	岡田	秋人	菅野	等	坂川	公一	高木	ナホ	土井	隆義	原	正	松永	泰典	吉村	篤司
新井	陽子	岡本	裕之	岸川	章修	坂田	利弘	高木	睦弘	德橋	雅夫	原田	隆康	松本	修	若狭	良博
荒木	正博	奥村	俊之	岸本	弘子	坂田	正彦	高倉	昭治	富永	敏郎	原田	拓二	水嶋	克義	若田部	博哉
有澤	弘一	奥山	訓近	北岡	茂男	坂本	透	高瀬	春雄	豊田	治視	春山	賢男	水野	民男	渡邊	功
有常	洋一郎	小倉	泰子	北野	喜彦	坂本	弘	高田	千枝子	内藤	輝夫	坂東	隆男	溝口	繁美	渡辺	和男
飯田	宗映	尾崎	武	日下部	公昭	笹川	和輝	高田	雅博	永井	吉人	東	勇介	南橋	理	渡邊	寛
池田	このみ	小内	稔	楠	千仞	佐藤	悦郎	高田	善明	永石	二郎	土方	多美枝	宮城	晴耕	渡邊	悟
石井	みさ	小野	清子	工藤	幸紹	佐藤	猛郎	高田	令子	中川	雅史	日比野	文一	宮崎	健一	渡部	清二
石川	尚子	小野	桂市	久保	武弘	佐藤	千春	高津	富士男	永澤	正明	比良	皓一	宮下	重敬	渡部	徹
石塚	和美	小野満	禎子	倉持	三郎	佐藤	政志	高槻	浩司	永澤	正好	平井	静子	宮下	弘子	渡辺	渡
石原	麻理恵	尾原	咏夫	栗原	藍	佐藤	洋一	高津戸	哲也	中島	光廣	平川	信夫	宮嶋	孝也	渡井	耕平
石渡	和実	折笠	常弘	栗原	希代子	沢村	達也	鷹野	誠三	永嶋	正嗣	平下	賢治	宮本	義久	(五十音順敬称略)	
板倉	達雄	恩田	真紀子	小池	一郎	重枝	武司	高野	だいわ	中田	英雄	平松	広太郎	村上	芳彦		
板持	頼好	甲斐	平八郎	小池	修造	重田	親志	高橋	伍郎	中西	史	平山	宏	森	英俊		
板本	正夫	篁島	充	合田	浩之	芝崎	茂夫	田上	修	中村	伸夫	廣橋	義敬	森	吉則		
伊藤	忠一	梶原	富男	古賀	正義	柴田	恵美子	武井	敏男	中山	家久	福田	正義	森河	孝夫		
伊藤	洋子	片野	泰男	小菅	保子	柴田	浩直	竹市	親子	中山	慶一	福原	啓介	森田	仁	(五十音順敬称略)	
伊藤	義博	片山	達哉	小谷	ゆり子	柴山	佳男	武隈	晃	中山	守						

会費完納会員の皆さまへ

2019年4月15日

一般社団法人 茗 溪 会
理事長 江 田 昌 佑

2019年度『茗溪フェロー』 ご協力をお願い

茗溪会が新法人としてさらに発展・進化していくために、東京教育大学等前身諸学校から筑波大学にわたる多様な世代を結び、教育界だけでなく広く実業界に活躍する卒業生との地域・職域をこえた連携を強化することを目的として、「茗溪会拡充キャンペーン」の一つとして会費完納会員を対象とした「茗溪フェロー」を創設いたしましたところ、これまでに多数の方からのご協力をいただきました。

誠にありがとうございました。

完納会員の皆さまには、35年間にわたり茗溪会へのご支援をいただき、これまで本会を支えていただきましたことは、誠に感謝に堪えません。

茗溪会は筑波大学や在学生、さらに新しい卒業生に、一層の支援をすることは勿論ですが、本会の老・壮・青の力を集めて大きく発展することを期しています。そのためにも、皆さまには本年度もご協力をお願い申し上げる次第でございます。

「茗溪フェロー」の募集要項

既に会費を完納した会員の皆さまに呼びかけて「茗溪フェロー」として、皆さまからの寄付をしていただき、今後の茗溪会の運営に寄与していただくことを目的といたします。

- 1 寄付金 1口 2,000円／年間
- 2 支払い方法 口数の選択 1口以上
郵便局窓口またはATMから送金してください。

会員番号は必ず記入してください。

(お送りした封筒の宛名に記載してある8桁の番号)

新たにクレジットカードでお支払いもできるようになりました。詳細は事務局までお問い合わせください。

- 3 季刊誌『茗溪』誌上にお名前を掲載いたします。
- 4 納入口数に応じて、記念品を贈呈しております。

季刊誌『茗溪』夏号に 誌上交流広告掲載ご協力のお願い

日頃から、茗溪会にご支援・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

さて、季刊誌『茗溪』では、年2回、誌上を使って、会員相互の交流を図るために交流広告を募集しております。次号(1102号)では、「暑中お見舞い」を交わす誌上交流を会員の皆さまにお願いして掲載致したいと存じます。

下記の要領により、ご応募くださいますようお願いいたします。

記

◆掲載方法

季刊誌『茗溪』夏号(1102号)誌上

上段に「暑中お見舞い申し上げます」のタイトルを標記いたします。

◆掲載対象

茗溪会等の代議員・理事・監事・各地域組織等の代表者(会長・支部長・校長等)をはじめ、会員の皆さまにお願いします。

◆掲載内容

地域組織の代表者名、個人名、連絡先、卒業年、卒業学科、学類及びコメント(30字程度)

コメントは、例えば今年の抱負、総会等の主な行事、サークルや同期会等のお知らせ等々を、全国の仲間と交流してください。

◆掲載文の連絡方法

FAXまたはメール等で、本部事務局宛ご連絡ください。

◆掲載協力金

1件につき10,000円をご協力ください。

協力金は本部事務局までご送金ください。

◆原稿等の締切り

2019年5月24日(金)です。

◆連絡先

〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23

茗溪会 事務局長 高野 力

TEL 03-3941-0136

FAX 03-3941-7674

E-mail info@meikei.or.jp

*印刷業者からゲラが出てまいりましたら、お送りして、確認していただきます。

茗溪学園だより

個人課題研究発表会（後援・筑波大学）

2月28日、表記発表会及び平成30年度SSH活動報告会が筑波大学・大学会館を会場に開催されました。

オープニングセレモニーでは、筑波大学教育社会連携推進室の渡辺俊先生から、ご祝辞を頂戴しました。本校生徒による、個人課題研究の概要説明の後、7会場に分かれての口頭発表が始まりました。

口頭発表は28研究、ポスター発表34研究、いずれも昨年12月に行われた全員発表会で総合評価の高かった研究です。他に、科学部やSSHプログラムなどの研究報告が9件（ポスター発表）ありました。口頭発表は、会場ごとに筑波大学の先生方が座長を務めてくださり、指導、講評をしてくださいます。発表を聞く生徒たちは、それぞれ関心のある研究を聞こうと7会場を移動します。各会場に向かう通路の混雑にも、生徒たちの活気が見られます。口頭発表が終わるとポスター発表が始まります。

この発表会に至るまでに幾度となく発表経験を重ねてきてはいるものの、他校の先生方や大学の先生方から次々に質問されるので、緊張の続く発表会となっています。



口頭発表：テーマ「針金逆立ちゴマの仕組み～微小重力下での挙動～」昨年2月に「ISSきぼう」内で実験が行われた研究

クロージング（全体会）では、SSHプログラムの屋久島調査研究と海外研修（英語による発表）の報告があり、本校SSH担当教員からは今年度の活動報告を行いました。締めくくりに、本校SSH運営指導員でもある筑波大学教育研究科長の清水美憲先生からご講評をいただきました。

エッセイ講座「中3レポート発表会」

本校では、中学生に対してエッセイ講座（月1回）を開設しています。毎回様々なテーマに沿って、「自分の考えを、説得力を持って相手に伝える文章（エッセイ）」を800字で書きます。4年前から始めましたが、「自分で考えて意見をまとめ、文章や口頭で発表し、他の人達と協働する」能力の向上を目指したもので、近年話題になっている教育改革や大学入試改革への対応策ともなっています。

2月には、中学3年間のまとめの活動として、中学3年生に対して「文化と伝統」というレポート課題が提示され、そのレポートの発表会が開催されました。発表者となった生徒は、12月に行われた国内研修旅行での調査学習の成果を交えて、「文化財保護」というレポート（5千字以上）を作成し、この日には素晴らしいプレゼンを行いました。

この月1回のエッセイ講座、開始から4年が経過し、確実に書く力が着いてきていることを実感します。生徒達も意欲的に取り組んでいます。

日本語スピーチコンテストで県知事賞

2月に行われた「外国人による日本語スピーチコンテスト」（茨城県国際交流協会主催）に出場した本校高校2年在学（在学）の中国人留学生「ソ・ユカ」さん（「アジア架け橋プロジェクト」による6か月間の留学、本校では寮生活をしてきた）が、最高賞の県知事賞を受賞しました。同時に、「若人賞」（県内高校生68名の特別審査員から、最高のスピーチをした人に贈られる賞）をいただきました。

「私たちは親友になれるかな」というタイトルで、日中関係について、一緒に考えていこうと、自分の言葉で丁寧に伝えていました。既に帰国しましたが、日本の大学への進学希望があり再び日本にやってくるということでした。日中の架け橋として活躍が期待されます。



「戦争という歴史を持つがゆえに誤解が多い。互いに正面から話し合い」と訴え自らの決意を話した

部活動など結果報告（11月～2月）

◎**高校ラグビー部**：第98回全国大会・3回戦敗退ベスト16。高3の植村君は、U25日本代表選手（7人制ラグビー）に選ばれ、海外遠征（2月）や強化合宿（3月、高校生は1名のみ）に参加。2020年オリンピック出場を目指す。

◎**中学ラグビー部**：第38回東日本大会・3年連続18回目の優勝。第24回全国ジュニアラグビー大会・第2ブロック優勝。

◎**高校体操部・女子**：全国選抜大会出場（県大会個人総合優勝、3月山口県開催）

◎**高校柔道部・女子**：全国大会出場（県大会優勝、3月東京・武道館開催）

◎**高校剣道部・女子**：全国選抜大会出場（県大会準優勝、3月愛知県春日井市開催）。**男子**：茨城新聞社旗争奪全国選抜剣道大会準優勝

◎**中学バドミントン部**：男女単・複で優勝・準優勝、5名の選手が茨城選抜選手として全日本中学バドミントン大会出場（3月三重県津市開催）

◎**中学テニス部・男子**：全国私立中学テニス選手権大会（北関東代表）団体初戦敗退、個人ベスト16

◎**スキー：高2女子**：関東高校スキー大会（群馬県尾瀬戸倉）アルペン競技大回転29位。**中1女子**：全国中学スキー大会（新潟県苗場）大回転109位

◎**美術部**：第63回全日本学生美術展全日本学生美術会賞（団体最高賞・30回目の受賞）、個人賞は推奨2名・特選5名・佳作23名、美術部員以外の授業作品佳作8名。**旺文社主催第62回全国学芸サイエンスコンクール**・絵画部門銀賞1名、入選5名。

◎**科学部生物班**：学年ごとにテーマを決め継続した研究を行う。高2グループ、2月、「環境学習会」（霞ヶ浦環境科学センター主催）で成果発表（霞ヶ浦の泥を用いた微生物発電の研究）。

◎**科学部無線工学班**：フィールドデーコンテスト全国1位（18年連続）、ARDFは茨城大会で優勝を含む入賞多数。

◎**書道部**：茨城新聞紙上展・茨城県議会議長賞（第2期）、優秀賞5名、奨励賞48名（県内学校で最多）。明治神宮全国少年新春書初め大会・入賞5名。

◎**第38回全国高校生読書体験記コンクール**・入選（高1男子）

◎**第22回図書館を使った調べる学習コンクール**・調べる学習部門優秀賞1名（高2女子）、佳作2名（共に高2女子）

◎**税に関する中学生作文コンクール**・茨城県連会長賞（中2女子）・土浦税務署の「1日税務署長」を務める。

◆筑波大学第二学群生物学類 1 期・2 期・3 期合同同窓会

と き 平成30年11月10日(土)

ところ 嘉ノ雅茗溪館

筑波大創成期の生物学類 1 期・2 期・3 期生が一堂に会して、第 2 回合同同窓会を開催しました。第 1 回は2010年に 2 期生の卒後30 周年記念で、今回は 2 期生の還暦記念で茗荷谷に集まりました。2 期生を中心に先輩・後輩と共に旧交を温め、還暦後の人生の参考となる有意義な会になり、3 次会でも時間が足りませんでした。

(文責 1 期生：福島 繁、山本秀一、2 期生：水島 淳、佐野洋子、3 期生：岡野 清)



《1 期生》



《2 期生》



《3 期生》

◆筑波大学柔道部 1・2 期生合同会

と き 平成30年12月15日(土)

ところ 伊豆長岡温泉陶芸の宿はなぶさ

まだ武道場もなかった草創期の苦楽を共にした 1 期生 8 名、2 期生 7 名、またこの度講道館柔道九段に御昇段されました中村良三先生をお招きし、計16名での開催となりました。昔話や近況報告、中村先生の柔道界の将来を見据えたお話し、二次会では宿のホールを貸し切りカラオケに興じ、大変楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

(文責：望月優映)



「桐の葉のつどい」の掲載について

以下の要領で写真と原稿をお寄せください。

(写真) フィルムカメラ、デジタルカメラのいずれかで撮影したものでも結構です。紙焼きでも、デジタルカメラの場合はデータをメールでお寄せいただいても結構です。

(文章) グループの名称、お集まりになった「とき」「ところ」を別項にして、必ずお書き下さい。会の模様を紹介する文章は31文字×5行以内でお願い致します。

著書紹介の掲載について

季刊誌「茗溪」には、茗溪会員の皆さまの著書を紹介しております。先輩・後輩・友人などの著書を、25 字×18行程度の紹介文にして茗溪会事務局へ送ってください。

なお、書名、著者および本人の卒業年度、学部・学科〈学群・学類〉、本の大きさ、ページ数、価格、発行所等を付記してください。

送っていただいた原稿は、できるだけ多く紹介しようと考えております。また、紹介した本を永く保存するため、事務局に一冊ご寄贈くださるようお願いいたします。

追 悼 録 (敬称略)

吉野 純夫	筑波大学名誉教授 東京	30・2・15 妻	吉野真由美
内山 知也	筑波大学名誉教授 東京	30・7・29 妻	内山 隆子
高木 四郎	18理二 東京	30・12・20 長男	高木 教之
藤沢 偉作	19理一 東京	30・9・16 長男	藤沢 明文
飯塚 鉄雄	21大教 東京	30・10・13 長女	片渕 直美
深山 昌	22芸 東京	31・1・5 妻	深山たか代
青木 賢一	22体専 静岡	31・1・2 孫	青木 太郎
森下 太郎	23理二 長野	30・12・14 妻	森下 繁美
竹元 義一	23農教 長野	31・2・5 妻	竹元 澄子
福井 哲夫	24文三 大阪	31・1・21 妻	福井 紗子
武井 敏男	24農教 長野	30・9・12 妻	武井みち子
中村 司	25大動 山梨	30・11・24 妻	中村美代司
岡村 昭二	25体 埼玉	29・11・5 妻	岡村 千春
佐藤あい子	25農教 東京	31・1・18 次女	佐藤 亜紀
野本 善司	26理四 埼玉	31・1・20 長男	野本 隆司
大本 邦嘉	26農教 東京	30・12・7 妻	大本美智子
中西 章	27理二 埼玉	30・5・25 妻	中西 京子
宮里 勝	27理四 東京	31・1・31 次女	宮里香弥子
坂巻 正一	29教大西史 埼玉	30・3・31 長男	坂巻 博司

逝去会員氏名・卒年科・逝去年月日・ 地域・続き柄・遺族氏名

山岸 唯夫	29教大教 北海道	29・8・5 妻	山岸 芳子
畑中 忠雄	29教大植 東京	30・9・2 妻	畑中御与子
松尾 武司	29教大体 神奈川	30・12・6 妻	松尾やす子
川北 智世	30教大体 京都	29・11・24 長男	川北佐智雄
藤本 靖	30教大体 東京	29・10・10 妻	藤本 顕子
平岩 隆行	31教大日史 東京	31・1・18 娘	田中 倫子
月成 満	31教大地 千葉	31・1・2 妻	月成 協子
渡邊 建夫	31教大健 新潟	31・1・4 妻	渡邊 啓子
永石 二郎	32教大特教 神奈川	30・12・12 妻	永石 福子
尾原 咏夫	32教大物 富山	30・12・30 妻	尾原 永子
本間 功	33教大農経 新潟	30・12・12 妻	本間 祐子
森岡 永吾	33教大総農 北海道	30・12・29 妻	森岡 誼子
長谷川圭作	35教大西史 北海道	30・9・3 妻	長谷川嘉子
河手 達治	35教大特教 東京	30・8・29 妻	河手 静子
足立 猛	35教大体 鳥取	30・11・22 妻	足立 容子
高野 享司	35教大体 東京	29・2・8 妻	高野 章子
岩見 恒典	35教大健 愛知	31・2・26 妻	岩見美代子
丸橋 信之	36教大林 富山	30・12・10 妻	丸橋佐恵子
下向 祥夫	39教大体 愛知	30・12・24 長男	下向陽一郎



Service Safety Sincerity
あなたのそばに。セキショウグループ。

SEKISHO

Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学
大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の
支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正 樹 (学校法人 若漢学園理事)

つくば本部／茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

若漢会担当：取締役常務執行役員 岡本 俊一
(昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<http://www.sekisho.co.jp/>



安全に、快適に、正確に

OZONE 大曽根タクシー株式会社

代表取締役 塚本 育子

☆お迎え料金無料

☆カード利用 OK!

☆貸切バス事業者より

安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑 3 丁目 19-4

TEL 029-864-0301

FAX 029-864-4727

メールアドレス <http://www.taxi.e-tsukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます

予 告

公開講座

(1) 東京地区

(2) つくば地区

テーマ：「大河ドラマ『いだてん』について」

講師：真田 久 筑波大学教授
日時：2019年6月29日(土)
14:00～

場所：茗溪学園アブラホール

テーマ：「英語シリーズ」第18回

講師：藤原保明 先生
日時：2019年11月9日(土)
14:00～15:30 予定

場所：筑波研修センター

追悼のごい

日時：2019年9月28日(土)
場所：茗溪会館

教職二次試験対策研修会

日時：2019年8月1日(木)
2019年8月11日(日)

〈神奈川・埼玉〉

場所：茗溪会館
〈東京・千葉〉

日程：2019年8月9日(金)
2019年8月10日(土)

〈茨城〉

場所：筑波大学 大学会館



株式会社 阿部兄弟建築事務所
平成26年度東京ワークライフバランス認定企業

<http://abeoffice.co.jp>



〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル

代表取締役 荒井 豊人(昭和57筑基工)

TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120

経営・労務・年金etc. コンサルタント

福岡経営労務事務所

〒125-0042 葛飾区金町3-27-3

TEL 03(3607)0551 FAX 03(3607)0551

所長 福岡 一雄 (32教大法政)
社会保険労務士



株式会社 十和観光

代表取締役 井坂 信洋

URL <http://www.juwa.com> E-mail: travel@juwa.com
〒300-2451 茨城県つくばみらい市箕輪254
TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220



株式会社 岩手チキン工房

— みんなに笑顔をお届けします。 —

代表取締役 田中 修 (昭54筑農林)
社長

〒028-3309 岩手県紫波郡紫波町北日詰字城内85-1
TEL : 019(676)4121 FAX : 019(676)4464
<http://www.i-c-koubou.co.jp>

スポーツ&起業家&企業人「つくばウェイ」

TSUKUBA WAY プロジェクト

～茗溪・筑波OB・OGの活躍を集約!!～

<http://tsukubaway.com/>

株式会社 KTAJ

代表取締役 藤田 文武 (体育専門学郡 2004年卒)



Future X Communications

FXC株式会社 <https://www.fxc.jp/>

当社は光通信機器やイーサネットスイッチ等のネットワーク機器を開発・製造し、各地の公立高校始め、官公庁、企業等に多数納入実績がございます。

創業者：代表取締役社長執行役員 谷輪 重之 (93筑修経営)

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 ケエスアイ

東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-1
東京フジビル502号室

TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669



株式会社 長谷工 コーポレーション

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号

電話 03(3456)1578

常務執行役員 植岡 祥之 (昭57筑社工)

つくばでの宿泊・研修にー

ご家族で、お仲間で

最大収容180名、お一人3,700円から(10月1日より料金改定予定)
茗溪会員とご家族に割引あり
研修セミナー・サークル発表会・各種会議・学習合宿・部活動合宿に
シングル145室ツイン5室和室5室／研修室2室(120・40名)
和室も研修室として利用可(20畳、10畳)
館内食堂《こうせい》でパーティ・懇親会等(数名から80名まで)

アクセス 秋葉原駅からつくばエクスプレスで45分「つくば駅」下車
●バス／「筑波大学循環」3つ目「筑波メディカルセンター前」下車
徒歩8分 ●つくば駅からタクシー／5分

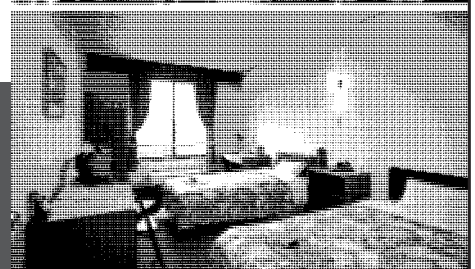
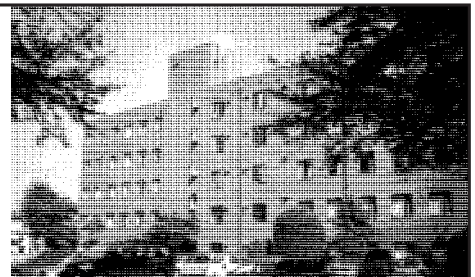
一般財団法人筑波学都資金財団

筑波研修センター

〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5

TEL 029-851-5152 / FAX 029-851-8886

<http://www.meikei.or.jp/~center> e-mail: center@meikei.or.jp



広 報

「筑波大学新聞」 4月号を同封します

「筑波大学新聞」4月号を今年も同封致します。4月号には筑波大学への新入生の情報が掲載されており、会員の皆様から好評をいただいております。その他、筑波大学の様子も詳しく掲載されておりますので、ご活用ください。

茗溪会から筑波大学支援の助成金を贈呈

本会では筑波大学の学生への助成金を贈呈しておりますが、最近では、茗溪会賞と卒業式に対して助成金を贈呈しました。

卒業予定学生の就職活動にご支援を

来春卒業予定の筑波大学生のために、諸先輩のご指導ご支援をお願い致します。

「問い合わせ・連絡先」 筑波大学学生部就職課

企業・団体関係 電話 029-853-6001

教員・公務員関係 電話 029-853-2249

第34回教職受験対策研修会

本会が主催、筑波大学が共催する「教職受験対策研修会」が、筑波大学で開催され、20名が受講しました。

【第1日】2月16日(土)

*開講式

*講義Ⅰ「学力向上につながる『アクティブラーニング』について」

*講義Ⅱ「論文作成・自己のポイント」

*論文作成

*個人面接1

【第2日】2月17日(日)

*個人面接2

*論文検討

*集団討論

*閉校式

第4回茗溪穆談会(茗溪会に関する有識者懇談の会)

去る2月16日、茗溪会館において有識者3名(五十嵐耕一氏、長瀬要石氏、渡辺好明氏)をお招きし、茗溪会理事9名、監事1名、事務局2名の出席をもって開催されました。

理事長挨拶の後、「茗溪会の事業等の概要について」、「筑波大学への支援について」、「茗溪・筑波産業人倶楽部の創設・発会について」、「茗溪創基150年記念事業について」などが話し合われました。その後の懇談・会食の場においても種々の意見交換が行われました。

表紙の言葉

岩手茗溪会 清水茂幸

写真は盛岡市内の北上川の橋の上から、標高2038mの岩手山の最高峰である岩手山を撮影したものです。

茗溪会岩手支部では、会員相互の親睦を図るとともに、貴重な情報交換の場とするべく、例年、1月の第2土曜日に総会・懇親会を開催しています。支部会員数に比して、総会・懇親会の参加者数が2割程度に止まっていることと、高齢の会員の参加が多いため、是非若い会員の参加を増やすために、積極的に声をかけることに務めました。その成果か、少しずつ若い会員の参加数が増えてきています。来年も1月11日(土)に総会・懇親会を予定しています。今年度の役員は左記の通りです。

○支部長 佐藤 有(S57筑二農林)

現職 岩手県教育委員会学校教育課
主席指導主事兼高等教育課長

○事務局長 清水 茂幸(S59筑体)

現職 岩手大学教育学部教授

○庶務 上溝 龍也(S62筑体)

現職 岩手大学教育学部教授

○会計 澤村 省逸(S62筑体)

現職 岩手大学教育学部准教授

編集後記

本号では、筑波大学大学院生および芸術専門学群学生・大学院生を対象とした茗溪会賞の受賞者を紹介しています。今回は前回の2倍近い41件の受賞者を紹介しています。受賞者の社会貢献活動等を知っていただければ幸いです。

占春園再生プロジェクトに関しては、正月明けから続けてイベントが行われましたので、西川綾子さんにその概要をご報告いただきました。

また、伊藤純郎先生には「占春園覚書き」として占春園の由来を中心に、詳しく解説していただきました。占春園に対する新たな視点をもっていたただければ幸いです。

お願い

- ・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡ください。
- ・年会費のお振込みは、早めにお願ひいたします。

2019年4月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

112-0012 東京都文京区大塚一五二三

TEL 〇三三三九四一〇一三六

FAX 〇三三三九四一七六七四

E-mail info@mekei.or.jp

URL http://www.mekei.or.jp

郵便振替記号番号 〇〇一五〇二一四九七七

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台一〇一

筑波大学・大学会館内

TEL 〇二九八五〇一〇四四

FAX 〇二九八五〇一〇四五

E-mail tsujinuu@mekei.or.jp

印刷 東京都文京区関口一三九一〇

山浦印刷株式会社

Wedding PARTY

茗溪会員
筑波大学
関係者の
皆様へ

筑波大学在学学生・卒業生・関係者
の皆様だけに贈る!!

【ご優待特典】

〔ご婚礼〕

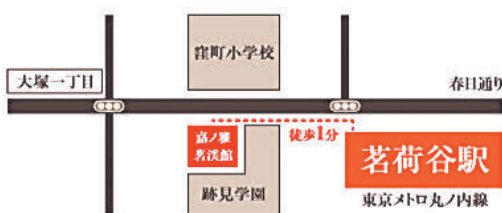
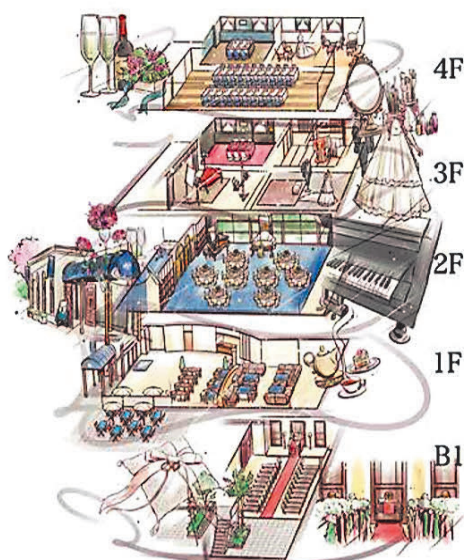
費用総額より**5%OFF**

KANOBI MEIKEIKAN



一日一組5フロア全館貸切で、
あなただけの特別なウェディングが叶います。

東京駅から、電車で10分。東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩1分。



“嘉ノ雅,”
KANOBI



茗溪館
MEIKEIKAN

03-5319-1888

営業時間 / 11:00 ~ 20:00
(第二火曜日定休)

「出会いの場は、もっと誠実であるべき」 新家族提案業

キューピッドが辿り着いた答えです。

ふさわしい結婚相手と出会い、

支え合いながら喜びを分かち合う

温かな家族を求める方のために。

私たちは誠実な出会いの場を提供しています。

手軽な出会いがもてはやされる時代だからこそ、

家族を真剣に求める方々の、新しい扉になりたい。

新家族提案業、キューピッドクラブです。

キューピッドクラブ

検索

毎週届くご結婚カップルの真実の言葉。

●ご婚約カップルに接したスタッフブログも更新中。

キューピッドの 結婚

キューピッドクラブは慶應義塾大学OB間の親睦パーティから、1980年S・U・L・Cの名称で設立以来38年。

■パンフレット「The Cupid Style」をお気軽に請求ください。

0120-0333-82

■入会資格

結婚を誠実にお考えの独身の方

●男性 25～45歳、定職におつきの方。●女性 20～40歳

※入会に際して審査があります。



結婚を誠実に考える人の会員制クラブ
Cupid Club

〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-11ヒューリック銀座数寄屋橋ビル7F 03-5524-3555 公式ホームページ www.cupid.co.jp

広告を募集しています。

事務局までご相談ください。

一般社団法人 茗 溪 会

〒112-0012

東京都文京区大塚1丁目5番23号

電 話 03(3941)0136

F A X 03(3941)7674

eメール info@meikei.or.jp

ホームページ http://www.meikei.or.jp

東京ビジネスホテル 茗溪会東京宿泊所

茗溪会会員割引料金（税サ込）

シングルB（バス・トイレ共同）

¥ 7,200→平日¥ 5,000 休前日¥ 6,000

シングルA（バス・トイレ付）

¥ 9,000→平日¥ 7,000 休前日¥ 8,000

ツイン（バス・トイレ付）

¥13,800→平日¥10,500 休前日¥13,500

朝食バイキング ¥ 1,200→¥ 840

大浴場時間 : 6:30~9:00 17:00~01:00



東京都新宿区新宿6-3-2

TEL 03 (3356) 4605

FAX 03 (3356) 4606

地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 1番出口
都営新宿線 新宿三丁目駅 C7出口
地下鉄副都心線 新宿三丁目駅 E2出口
JR新宿駅より車5分 } より徒歩7分



桜美林大学

J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群
グローバル・コミュニケーション学群
航空・マネジメント学群(仮称)2020年4月開設予定

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士
学長 畑山 浩昭
入学部相談役 川田 孝一（昭39教大総農）

【お問合せ先】

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758

桜美林大学インフォメーションセンター

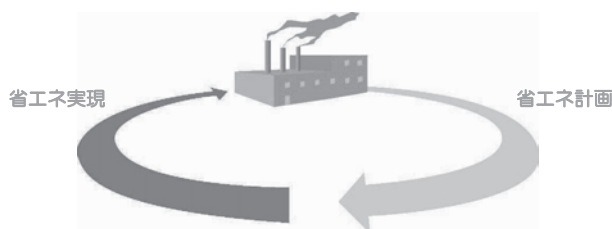
Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



ENERGY SAVING SYSTEM FOR

YOU

熱エネルギーの有効利用



排熱 & 未利用エネルギー

MAKE THE MOST OUT
OF
YOUR WASTE HEAT

Osaka
Techno-crat

株式会社 大阪テクノクラート

http://www.osaka-techno.com

TEL: 03-5256-8261

Meikei—
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

* 茗溪学園は 1979 年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です

- ◆寮のある学校です
海外からの外国人留学生も生活しています
- ◆国際バカロレア IBDP 課程認定校です
- ◆文部科学省 SSH・SGH アソシエイト認定校です
- ◆「知識」「体験」「考え方」
——とことん学び身につけます
- ◆部活動が盛んな文武両道の学校です

2019 年度公開行事

5月25日(土) オープンキャンパス

6月 8日(土)・9日(日)

桐創祭(文化祭)

6月22日(土) 帰国生説明会

7月 6日(土) 高校受験生対象学園説明会



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)